



ミュージアムボランティアについて

市民ミュージアムでは、来館者とミュージアムの架け橋となるボランティアが、さまざまな活動を行っています。そのなりたちをご紹介します。(イベントサポートグループ 広報担当 蔵本)

年度	活動の取り組み
2008	ボランティア誕生 見学サポート、イベントサポートを23名で活動開始
2009	企画・運営グループの立ち上げ 担当職員と協力しながら、自主的な活動の準備を進める
2010	ボランティアブログをスタート メンバー間の活動内容の共有を目的として開設
2011	展示ガイドグループ(博物館部門)が活動開始 企画・運営グループの自主企画第1号として展開
	チャイルドサポートグループが活動開始 すでに活動していたグループを組織化
2012	ワークショップグループが活動を開始 展示ガイドグループ(美術館部門)が活動開始 企画・運営グループの自主企画第2・3号として展開
	ボランティアデー開催 7グループそれぞれの体験が一日でできるイベントを実施
2013	広報紙「パルス」第1号発行 ボランティア活動を内外に発信する目的で刊行

ご参加、お待ちしております!

みる・きく・あそぶ ミュージアムまるごと体験 川崎市市民ミュージアムボランティアデー

日時:平成26年10月19日(日)10:00~16:00
会場:川崎市市民ミュージアム館内・中庭
参加費無料・事前申込み不要

※展示ガイドやワークショップなどを、一日で体験!たくさん参加すると、素敵なグッズがもらえる! 詳細については開催案内チラシもしくはミュージアムのWebサイトをご覧ください。



市民ミュージアムでは、公共の施設として、より“地域に根ざした存在”を目指し、2008年にボランティア制度を導入しました。2007年に館内にワーキングチームを組織し、導入の検討を始め、まずは、市内小学4年生が二ヶ領用水の学習をする際の「見学サポート(現スクールプログラムサポート)」と、「イベントサポート」の2つの活動グループからスタートすることになりました。2008年3月に最初のボランティア募集を行い、6月から登録者23名でミュージアムボランティアの活動を開始しました。

活動回数を重ねるにすぎない、サポートだけではなく、より主体的な活動をしたいという機運が高まり、そこから「企画・運営」や「展示ガイド」、「ワークショップ」等のグループが生まれ、現在では計7グループ、総勢73名で活動をしています。

(ミュージアムボランティア担当職員 内海)

「一緒に楽しんでいきましょう!」 土谷憲司(つちやけんし) 新館長にインタビュー

—プロフィールと特にご趣味についてお聞かせください。

1977年4月に川崎市役所に入庁し、以後10数か所の異動を経て、今年3月まで多摩区役所の副区長を務めていました。趣味は、ブルーグラス(BLUEGRASS)というジャンルの音楽で、大学時代にその魅力にはまってから40年以上になります。ブルーグラスは、アメリカ南東部で伝承されてきたマウンテンミュージックを元にした、アコースティック系の音楽で、その明るい曲調にいつも元気づけられています。語りだすと3時間は必要ですよ!(笑)

—市民ミュージアムに寄せる思いをお聞かせください。

複合の文化施設ということで、他にはない魅力と可能性がありますね。また、展示のみならず、地域の方々と一緒になって盛り上げていくワークショップやイベントなどの活動を通じて、幅広い世代の方々に楽しんでいただける施設です。「気軽に立ち寄っていただけるミュージアム」が特色ですから、来館者がさらに増えるよう、積極的な広報活動が必要だと思っています。

—ボランティア活動について率直な感想をお聞かせください。

時間の許す限り、直に接したいと思っています。みなさんの活躍ぶりを目の当たりにして、地道ではあるけれども継続した活動の必要性というものを、改めて感じています。

—ボランティアに向けたメッセージをお願いします。

私が趣味とする音楽もそうですが、文化・芸術は人生にふくらみを持たせてくれます。みなさんには「明るく・楽しく・元気よく」、好きなことを極めて、それを来館者にわかりやすく伝えてほしいですね。

(展示ガイドグループ(美術館部門) 広報担当 黒佐)



ボランティア総会がありました

6月7日に年に一度のボランティア総会が開催されました。総会では規約の見直し、また、各グループの活動報告に加え、平成25年度の新たな取組である広報紙「パルス」の発刊とボランティアデーの開催についての報告が行われました。

総会後は、各グループに分かれて、歓迎及び親睦会も行いました。新規のメンバーにとっては、この総会が他メンバーやミュージアム職員と顔合わせをする初めての場となります。私はこの親睦会で

普段の活動を振り返りながら、意見交換をしたり、疑問点を確認したりすることで、新たな発見もあり、仲間とのつながりがより深まったと感じました。実際の活動が始まると、自分の所属以外のグループとは接する機会が少ないので、この総会と親睦会是他メンバーと交流を深めるよい機会となりました。

(チャイルドサポートグループ 広報担当 石井)



◎ペンリレー◎

スクールプログラムサポートグループは、市内の小学4年生が、川崎の歴史遺産・ニヶ領用水について学習するのをサポートしています。来館する子どもたちは探検バッグを携えて、元気にバスから降りてきます。館内での約2時間は、子どもたちにとって校外活動のわくわく感もありながら、美術館・博物館でのマナーを学ぶ場でもあります。楽しみながらもミュージアムの約束事を守るよう調整するのもボランティアの役割です。子どもたちが元気に学習する姿を見守るのは私たちの楽しみです。

(スクールプログラムサポートグループ 広報担当 山村)



◎今後の活動予定◎

展示ガイド(美術館部門)10月5日(日)11:30/13:30/14:30

展示ガイド(博物館部門)10月26日(日)13:30/14:30

ワークショップ 10月26日(日)「ちぎり絵のしおり作り」

11月以降の予定は、ミュージアムカレンダー又はミュージアムのWebサイト(<http://www.kawasaki-museum.jp>)をご覧ください。

◎ユニフォームのご紹介◎

専用ユニフォームは、活動が充実してきた2012年12月に制作され、翌年1月から着用が始まりました。初めての来館者でも一目でわかるように、市販のウェア(ビブス)に親しみやすいデザインを施し、シルクスクリーン手法で印刷したものです。デザインと印刷はボランティア、版作成は職員による共同制作です。

博物館みどころガイドはピンク地にスケッチブックのデザイン、アートみどころガイドは黒地にパレットのデザイン、その他イベントサポート・ワークショップなどの活動は緑地にミュージアムロゴのデザイン。ミュージアムを身近に感じてほしいという気持ちを込めて作りました。

(企画・運営グループ 広報担当 江原)



～編集後記～

第3号をお届けします。市民をはじめ各方面の方々に向けた初めての発刊となります。広報紙はボランティア相互の情報共有の充実を図る媒体として、また市民の方々が直接ご覧になったり、参加していただいたり、そのための情報を発信する媒体として誕生しました。市民の方々にボランティア活動が伝わるように、わかりやすく魅力ある記事を熱意をもって各活動グループ広報担当が展開していきます。日頃のボランティア活動を通してボランティアがミュージアムと市民の架け橋となり得るように、広報紙を通じて様々なボランティア活動を紹介していきます。どうぞご期待ください。

(企画・運営グループ 広報担当 江原)

